

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年11月4日

Nature:

新型コロナワクチンの買い占めで何百万人の命が失われる

【松崎雑感】

「われらは、いずれの国家も、自国のことのみ専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従うことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立とうとする各国の責務であると信ずる」という日本国憲法前文の宣言に従い、パンデミックに対する国際協力をしっかり進めましょう！コロナ対策でもこれを遵守することが、一人前の国として、世界の人々に対する義務を果たすことにつながります。

新型コロナワクチンの買い占めで何百万人の命が失われる

Ledford H. COVID vaccine hoarding might have cost more than a million lives
[published online ahead of print, 2022 Nov 2]. *Nature*. 2022;10.1038/d41586-022-03529-3. doi:10.1038/d41586-022-03529-3

ワクチンが公平に配布されたなら、低中所得国のコロナ死亡者はもっと減っていただろう

152か国のデータから得られたモデルを当てはめると、2021年に新型コロナワクチンがより公平に配布されたなら（ワクチンシェアリング）、低中所得国の死亡者を100万人以上減らすことができただろうという推計が公表された。

さらに、もし高所得国がワクチン以外の感染対策（マスク着用、三密防止など）をしっかりと行い、低中所得国にもっとワクチンを配布したなら、救われた命の数は380万人になっただろうとしている。

かねてからワクチンシェアの不公平により救える命が救えないことが指摘されてきた。しかし、インペリアルカレッジ・ロンドンの感染症疫学専門家オリバー・ワトソン氏は、具体的に救えたはずの死亡者数を発表することは、将来のパンデミック対策にとって、大きな貢献となるだろうと述べている。彼は「これにより、救える命を救おうという政治的意志が固まり、重要な決定を行うことができるだろう」と語る。

大きなギャップ

昨年未までに、全世界の人々の半数がワクチンを完了（2回接種）した。

しかし、十分に行き渡らない国や地域がある。ワクチン完了率は、高所得国で75%に達するが、低所得国の中には、わずか2%にとどまっている国もある。

豊かな国では、小児に接種するワクチンの余裕もできている。ただし小児は新型コロナウイルス重症化リスクが大人よりずっと低い。一方多くの貧しい国では重症化リスクの高い人々にさえ、ワクチン接種を行なえない状況が続いている。

イギリスのワーウィック大学、数理疫学専門家サム・ムーア氏のチームは、ワクチンが公平に配分された場合とされない場合の超過死亡の差を計算した。チームが計算に入れたのは感染率と重症化率の違いである。

その結果、感染対策がワクチン接種だけの場合、公平にワクチンを配分したなら130万人が救命できた事、高所得国がマスク着用や3密防止などの感染対策をしっかり行い流行を減らすことができた場合、低中所得国に回せるワクチン量が増えるため、救命数は2倍以上に増えただろうと結論を出した。

これは*Nature Medicine*の10月27日号に発表されている。

(次スライドグラフ参照)

この研究は、ワクチンの供給状態だけを考慮し、保存インフラや接種インフラなど他の要因は検討していない。

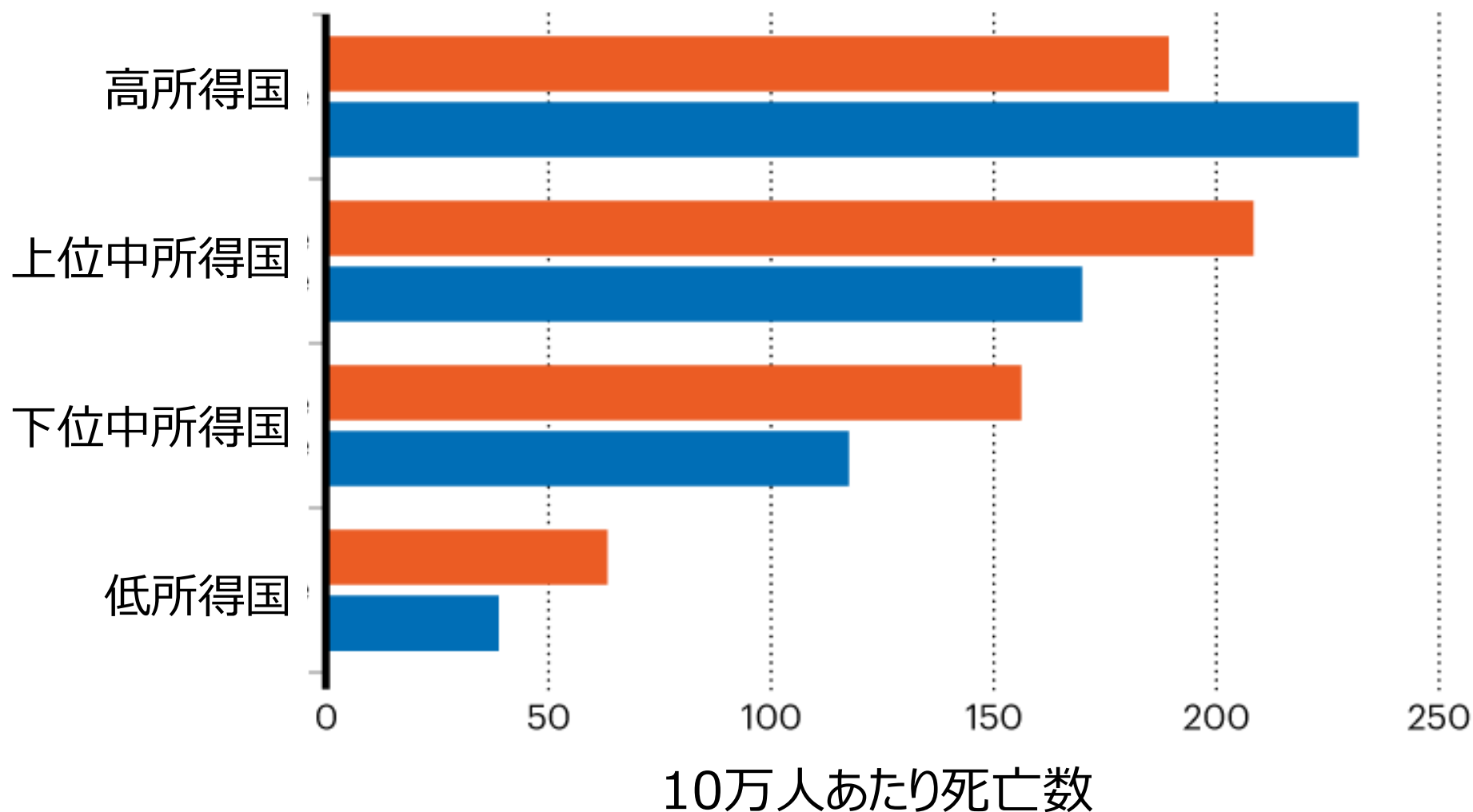
この所見は、以前にワトソン氏のチームが発表したデータと合致している。

この研究では、低所得国で人口の20%がワクチンを完了するというCOVAXキャンペーン目標を達成できたとすれば、新型コロナ死亡の45%が回避できただろうと結論を出している。

ワクチン不公平の現実

低中所得国の経済力に左右されず、新型コロナワクチンが公平に供給されたなら、多くの死亡を防ぐことができた。（ワクチン接種の公平*とは、どの国でも同じ接種率であること、高齢者に接種を優先する事）

■ 現状 ■ ワクチン接種の公平化*



ムーア氏は、ワクチンの公平投与により、感染を減らせば、新たな変異株の出現も防止できると語った。

政策決定者は、これらの研究結果に学び、来るべき次のパンデミックをどのように乗り切るかの重要な参考とすべきである。

もっとも、自分の国の国民にワクチンが行き渡らないうちに、貧しい国々にワクチンを回すという決定はなかなか難しいのが現実だろうが、ムーア氏は次のように述べた。

「高所得国ではまず高齢者、基礎疾患のある人々にワクチンを接種し、そのあと、低中所得国にワクチンを回すのがよいだろう。完全に公平にというわけにはいかないだろうが、近い将来にワクチンが入手できるという見通しがある場合は、低中所得国にワクチンを回すある程度の余裕もうまれるだろう」